

学習ポスター

季節の星座

地球は1年かけて太陽のまわりを1周(公転)しています。そのため、季節によって見える星座が変わっていきます。季節ごとの主な星座とその探し方をおぼえましょう。

春の星座

① おおぐま座

北の空の高いところにあるスプーンのような形の星の並びは北斗七星とって、おおぐま座の一部です。

② うしかい座 ③ おとめ座

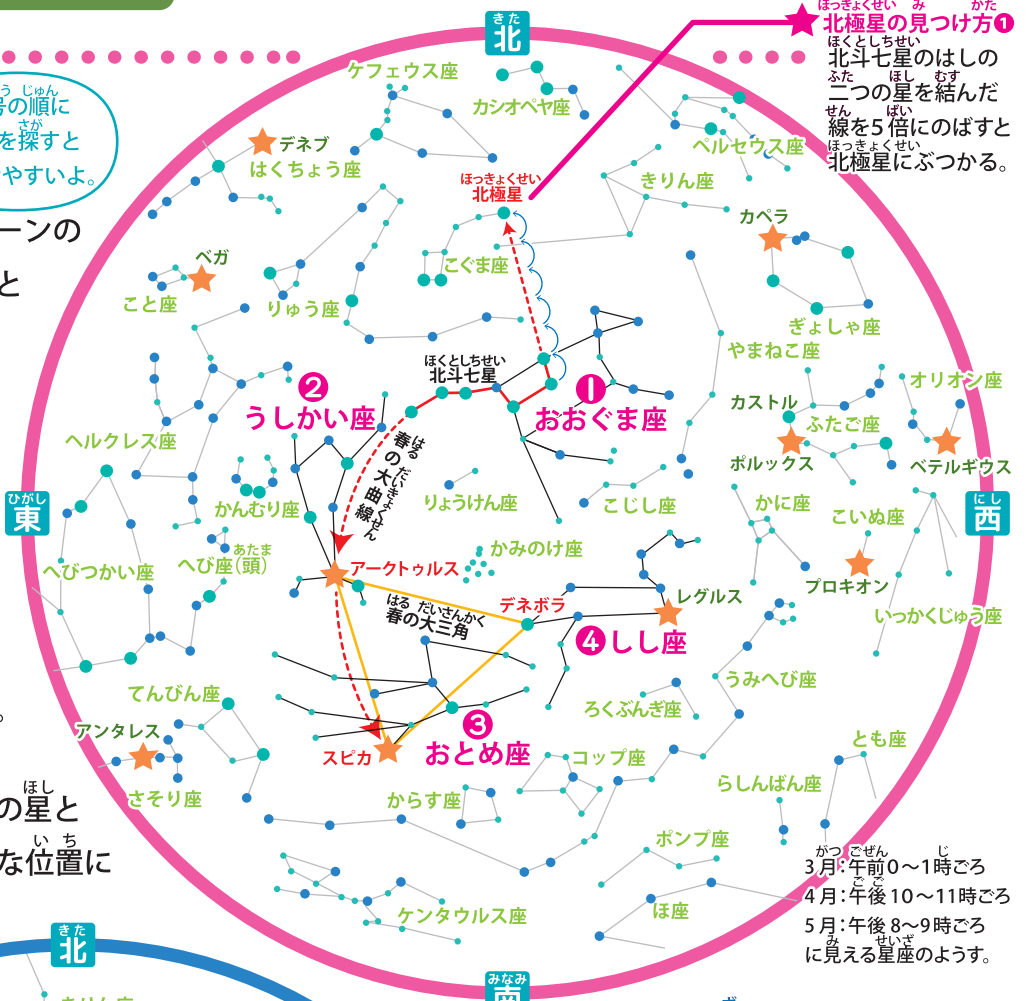
北斗七星のスプーンのえのカーブをのばすと、うしかい座のアークトゥルスにぶつかり、さらにのばすと、おとめ座のスピカにぶつかります。この

大きなカーブが春の大曲線です。

④ しし座

アークトゥルスとスピカの二つの星と三角形(春の大三角)を作るような位置にしし座のデネボラがあります。

番号の順に星座を探すと見つけやすいよ。



① こと座

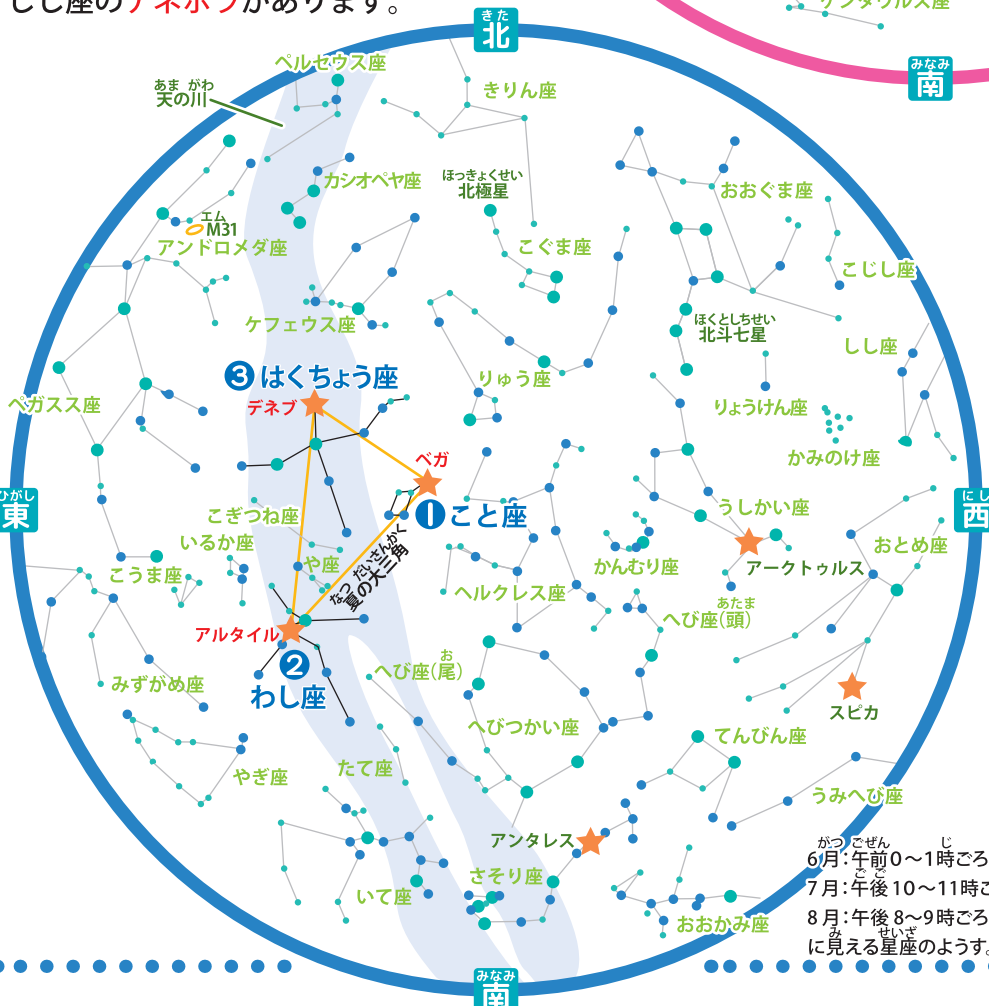
東を向いて見上げると、ほぼ真上に、明るく光ること座のベガ(おりひめ星)が見えます。

② わし座

東を向いたまま探そう。ベガの右下(南東)にわし座のアルタイル(ひこ星)があります。よく晴れて十分に暗いところでは、ベガとアルタイルの間に天の川を見ることができます。

③ はくちょう座

ベガの左下(北東)にはくちょう座のデネブがあります。ベガ、アルタイル、デネブを結んだ三角形が夏の大三角です。



夏の星座

秋の星座

① カシオペヤ座

北の空の高いところにMの文字のように見えるのがカシオペヤ座です。

② ペガサス座

ほぼ真上にある四角形の星の並びは秋の四辺形(ペガサスの大四辺形)といって、ペガサス座の一部です。

③ アンドロメダ座

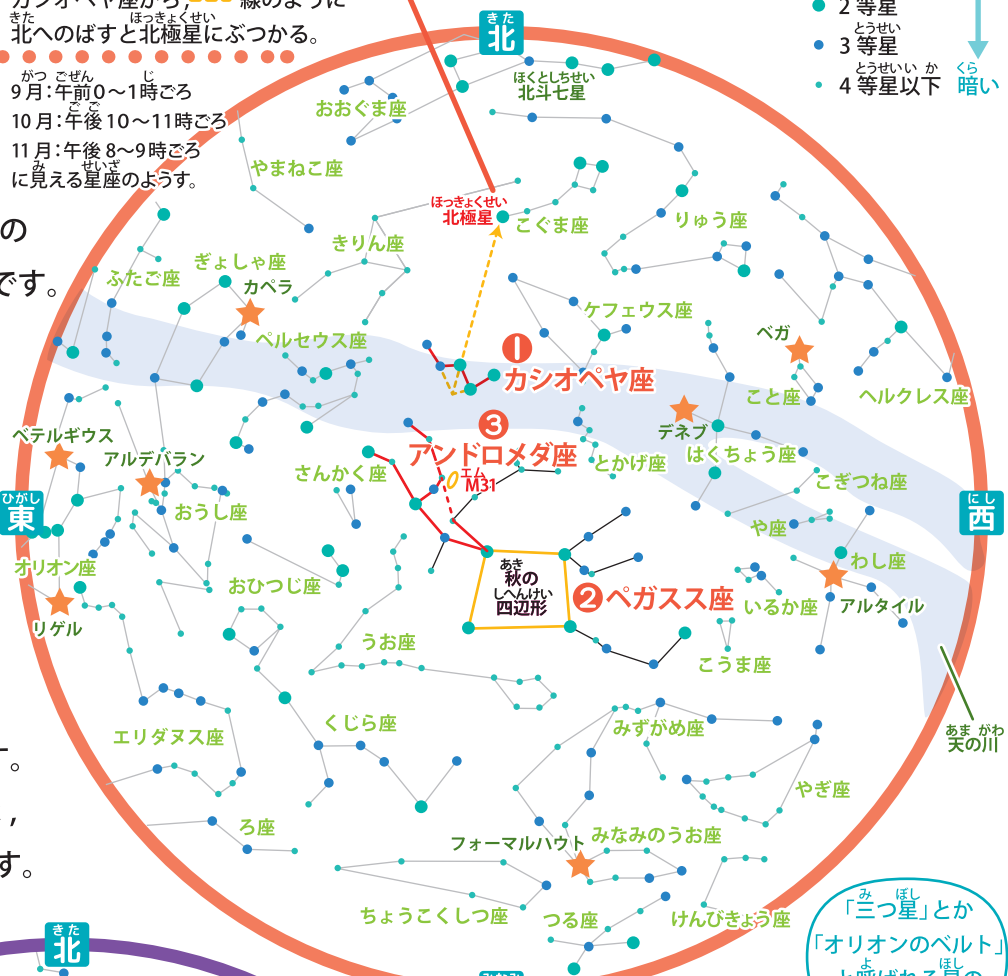
秋の四辺形の北東の星からAの文字のようにつながって見えるのが、アンドロメダ座の一部です。有名なアンドロメダ銀河 M31 は、このAの横ぼうの近くにあります。

★北極星の見つけ方②

カシオペヤ座から、---線のように北へのぼすと北極星にぶつかる。

9月:午前0~1時ごろ
10月:午後10~11時ごろ
11月:午後8~9時ごろ
に見える星座のようす。

星の明るさ...
★1等星
●2等星
●3等星
●4等星以下
↑明るい
↓暗い



「三つ星」とか「オリオンのベルト」と呼ばれる星の並びだよ。

① オリオン座

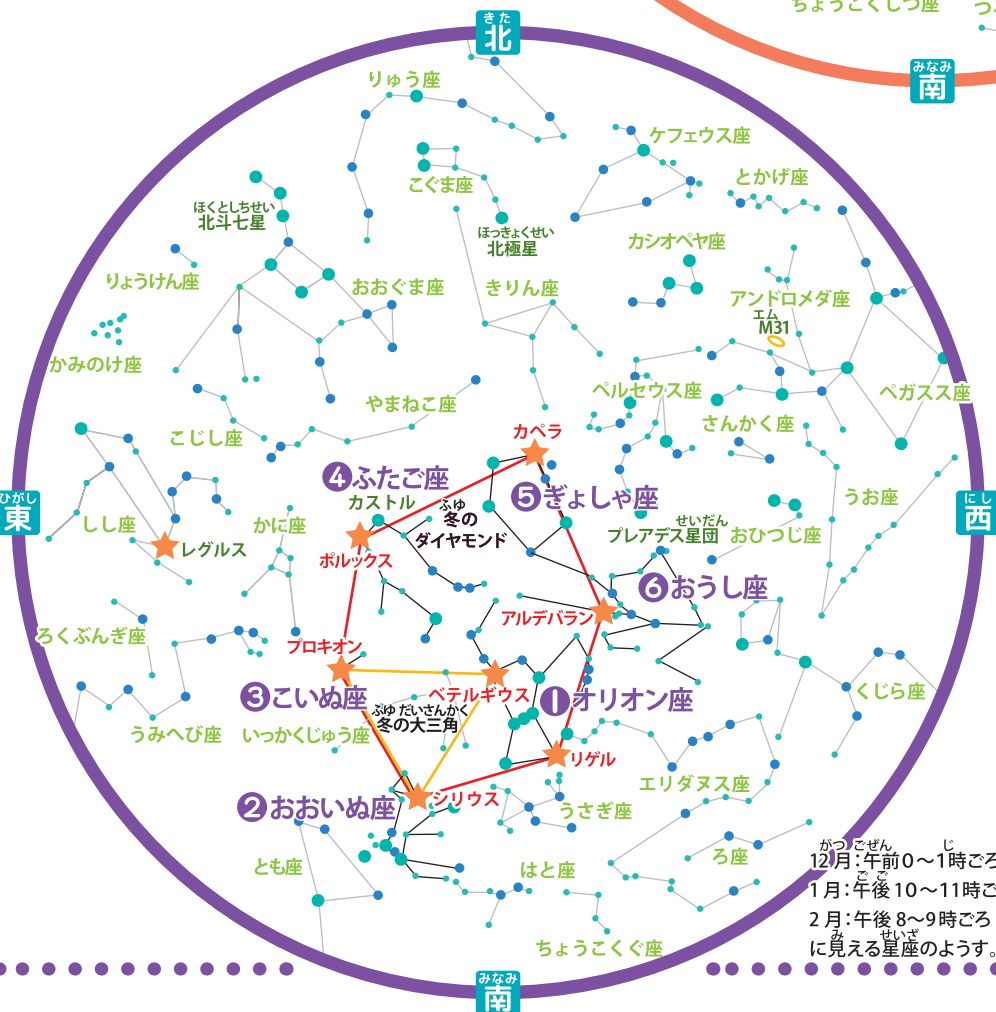
南の空の、よく目立つ三つ並んだ星がオリオン座の一部です。その左上にベテルギウス、右下にリゲルがあります。

② おおいぬ座 ③ こいぬ座

ベテルギウスと三角形(冬の大きな三角)をつくるような位置に、おおいぬ座のシリウスとこいぬ座のプロキオンがあります。

④ ふたご座 ⑤ ぎょしゃ座 ⑥ おうし座

リゲル、シリウス、プロキオンを結ぶ線を六角形(冬のダイヤモンド)にのぼすと、ふたご座のポルクス、ぎょしゃ座のカペラ、おうし座のアルデバランとぶつかります。



12月:午前0~1時ごろ
1月:午後10~11時ごろ
2月:午後8~9時ごろ
に見える星座のようす。

冬の星座

